

## 会 議 録

会議の名称	守谷市図書館協議会（平成30年度 第5回）			
開催日時	平成31年2月20日（水） 開会：14時00分 閉会：15時30分			
開催場所	守谷市役所 庁議室			
事務局（担当課）	教育委員会 生涯学習課			
出席者	委員	長谷川委員長，野口副委員長，渡辺委員，田中委員，大塚委員，堀込委員，佐藤委員，伊藤委員（出席：8名）		
	その他	TRC 新井館長，TRC 古関チーフ		
	事務局	飯塚次長，塚原係長，土田主事		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	4人	
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 協議 （1）平成30年度事業報告について （2）平成30年度「お客さまアンケート」結果について （3）その他 4 閉会			
確定年月日	会議録署名			
平成31年3月29日	委員長 長谷川 登代			

## 審 議 経 過

### 1 開 会

飯塚次長： 8名の委員が出席，守谷市図書館協議会設置条例第6条第2項の規定により会議は成立。傍聴者は4名。

### 2 挨拶 長谷川委員長

### 3 内 容

#### (1) 平成30年度事業報告について

—平成30年度事業報告（1月31日現在）について新井館長から説明—

長谷川委員長：質問はありますか。

野口副委員長：大変わかりやすい資料ありがとうございます。その上で、教えていただきたいのですが、P4蔵書構成の文学と小説の違いについて。

古関チーフ：守谷の図書館では、請求記号の「913.6」日本の小説に、「F」という記号をつけて管理してございます。文学の中で、例えば作家研究、俳句、短歌などに当たる部分と区別しているため、そういった表記になっております。

野口副委員長：わかりました。小説の部分が、配架上取り出されているということなんです。もう11点、「利用者数」という言葉がありますが、「入館者数」と「利用者数」と言った時の利用者数というのは、貸出利用の人の数だけという捉えられ方ですか。

新井館長：その通りです。「入館者数」は、入口にセンサーがついていて、そこを通過した人の数です。「利用者数」というのは、あくまでも貸出をした、図書館システム上の貸出利用者です。

野口副委員長：貸出利用以外の図書館利用、レファレンスの利用とかもあると思うので、「貸出利用者数」とか限定的に書いた方が確実なんじゃないかなと思いました。

新井館長：おっしゃる通りだと思います。あくまでもこの「利用者数」というのは、貸出に関する利用者であって、レファレンスだけに来た方については「入館者数」の方にしか反映されていないわけですよ。でも、実際には図書館の中で、実際にそのサービスを受けた方になるわけですから、そういう分け方というのはありきだと思います。

大塚委員：2点お伺いします。1点目は、30年度図書館統計報告のP3-Jに、貸出冊数で一般書と児童書とその他合計があるんですけど、もしわかればこの全体の構成比について、守谷市の傾向とか他の図書

館との違いみたいなものはあるのでしょうか。TRCの方なので他の地域でもお仕事をされているので、この時点でわかればお伺いしたいのですが。

新井館長：私の前職、真岡市だけのパーセンテージでいくと、守谷の方が多いですね。やはり、お話ボランティアさんにこれだけ頑張っていたいでいる中で、子どもたちが本になじむという部分について、非常に効果が出ているのではないかというふうに判断します。

大塚委員：真岡市で、ブックスタートはありましたか。

新井館長：ありました。

大塚委員：ありがとうございます。図書館協議会の中で、障がい児や障がい者への取組をまずは図書館のプロの方から始めていただいたら有難いというようなお話もあり、30年度からひこうせんのおはなし会をを本当に熱心にやっていただいて有難いなと思っています。もうこんなに何回も行ってくださっていて、写真も入った大変わかりやすい資料で、様子がイメージしやすかったです。こういう取組をなさっていたら、今までそういう体験が少なかったかと推測される子どもたち、保護者の方もいるかもしれないですが、読書に関する行動の変化とか反応とか、何か皆さんが取り組んでいる中で、何かいい変化があったとか、こんなふうに変わったとか、そんな報告がもしおありだったら教えていただけますか。

古関チーフ：障害者施設ひこうせんへの出張おはなし会ですけれども、今年度6回行っております。直接わたしどもが行ってるわけではなくて、児童担当スタッフが行っております。ひこうせんに来る方も、毎日いらっしゃってる訳ではなく、来る曜日が固定されているというので、月曜日から金曜日までなるべく日を分けて違う曜日に行くようにしました。なので、複数回おはなし会を受けている方と、自分がひこうせんに行かれる日だけしか受けてない方がいると思うんですけれども、施設の先生やお子さんからは、非常に喜んでいただいております。次はいつ来てくれるのというお話をいただいているとスタッフから聞いております。ただですね、そのひこうせんのおはなし会の結果、皆さんの読書の意欲が増したとかそこまでは調べられていません。まだ、最後のごあいさつがありますので、その時に、今ご意見いただいた内容を直接先生に聞いてみたいと思います。

長谷川委員長：はい、ありがとうございました。私も、知り合いがひこうせんに行ってまして、そのような話の中で、子どもさんの状況によってはその瞬間が嬉しいということもあると話していました。ですから、その瞬間でも喜んでもらえればいいのかなど。いいところに気が付いてくださってありがとうございます。他にございません

か。他にないようでした，お客様アンケートについてお願いしたいと思います。

## (2) 平成30年度「お客さまアンケート」結果について

—平成30年度「お客さまアンケート」結果について新井館長から説明—

長谷川委員長：ありがとうございました。ご質問，ご意見ありましたらお願いしたいと思います。よろしいですか。今回いろんな資料を出していただいて，大変だったと思います。これまで，利用者数を増やしていただいたこととか，ADEAC，ブックパックとか新しいサービスも取り入れていただきました。いろいろな意味で，今後も引き続き活用させていただきたいと思います。色々とお知恵をいただき，本当にありがとうございました。それでは，事務局へお返しします。

飯塚次長：大変参考になるまとめ方をしていただき，ありがとうございました。今年度は今日が最後の会議になります。委員の改選時期ということで，このメンバーでの会議は最後になります。3年間，いろいろ図書館の問題について検討していただき，貴重なご意見をありがとうございました。それでは以上をもちまして，本日の図書館協議会を閉会したいと思います。ご協力ありがとうございました。

## 4 閉 会